

PRO-LIFE NEWS

(中絶に反対する運動)

〒780 高知市新本町一丁目七番三十一号

第2週目

「約10日目」には、あなたは母親の子宮が与えてくれる栄養の中にしっかりと落ち着いて、母親に向かって自分がここに居るという信号をおくりはじめます。胎盤の化学成分やホルモンを使って、結局、母体の全ての器官組織に影響を及ぼすこととなります。母親はすぐに生理が止まり、「つわり」を経験したり胸が敏感になってくるのを感じたりして、妊娠したのではと気付くかもしれません。あなたはどのように決定的な影響力を持つわけですが、あなた自身とあなたを囲み、守っている風船状の水の嚢は、まだリングの種の大きさにも達していません。」

た。既に、各々の細胞のグループに違った仕事割り当てられています。ある細胞は、集まって、液体の満ちたあぶく状の嚢を成しています。この嚢は、ギリシャ語で「小羊」を意味する羊膜(アムニオン)と呼ばれています。これは、羊がしばしばこのようにな出生前の薄膜や液体に包まれて生まれることから名付けられたのです。この「水の膜」は、発達してゆく個体を支え、それにより自然な動きを与えます。

木のような形の胎盤を成す細胞のグループもあり、これは赤ん坊の血を母親の血流に接続させる役目をします。両者の血は薄い仕切り、つまり膜を通して「触れる」わけですが、それらは普通混じり合いませんし、違う血液型のことさえあります。物質の交換において、酸素や食物が母親から吸収され、赤ん坊の排泄物がこし出されま

す。へその緒は、2本の動脈ともつと太い1本の静脈から成り、濃度の高いゼリー状のものに包まれていて、胎児と胎盤の間を、栄養物と排泄物を運んで出入りさせる生命線を形成します。

羊膜嚢は、胎盤やへその緒と共に、発達しつつある胎児のためにある種の家スペース・カプセル兼、生命維持システムを構成しています。そしてその胎児は、だんだん大きくなり、生命に満ち、形成過程の途中にあるのです。

幻覚の言葉：
中絶のスローガン 3

「誰でも自分達の宗教的な倫理を、他人に押し付けることをすべきではない。」民主的に聞こえるだろう。

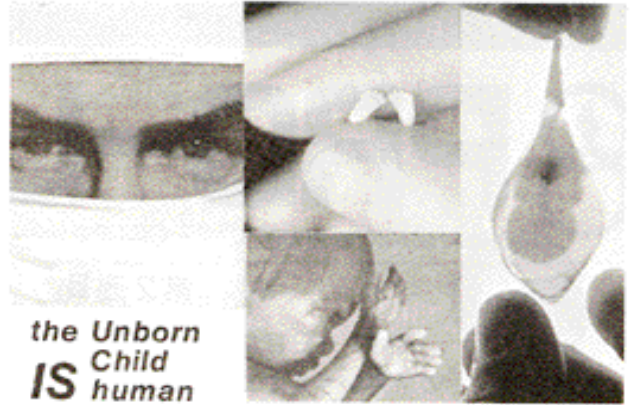
しかし、妊娠中絶に反対する人々が宗教上の信念からそうするのは、ということが通俗的にいわれる一方で、証拠はそうではないことを示している。

歴史的にみると、長年の反中絶法律制定は、胎児を守るうとした医学の団体によって始められた。現在北アメリカで、要求があれば中絶を先導する主唱者である Planned Parenthood だ。でも、かつて次のような考えを持つていたことがある。「中絶は、もう始まっている赤ん坊の命を終わらせてしまう。それは、あなたの生命と健康に危険なものだ。あなたは不

妊の体になつてしまふかも知れないし、そうなら、子供が欲しいと思つても、子供を生むことが出来なくなつてしまふ。」

宗教はいつ生命が始まるかを発見しなかつたが、生物学者は発見した。宗教は、受胎の時に唯一無二の別々な個体が存在するという事実を確証しなかつたが、遺伝学者は確証した。

中絶に反対する何人かの人々が宗教上の理由によつて反対しているからといつて、信心深い人々の飲酒運転への抵抗が飲酒運転を宗教上の問題にしてしまふ以上に、中絶を宗教上の問題にしてしまふことはない。



日本の人工妊娠中絶

人工妊娠中絶の方法
これは妊娠初期と妊娠中期によつて異なる。

A・妊娠初期の中絶法

これは子宮内容除去術と子宮搔爬術とである。腔鏡をかけてから子宮腔部をミユソー氏双鉤鉗子で固定し、ヘガール頸管拡張器で頸管を拡張し、次いで流産鉗子又は胎盤鉗子を

以て胎児及び付属物を除去する。次いでキューレット鉗子をもつて子宮内面の搔爬を行う。

「子宮頸管の拡張法」

これは一般に、上述全属製頸管拡張器が使われる。しかし、この方法の欠点として頸管裂傷の恐れがあるので、これをさけるために、手術前にラミナリヤ桿を頸管に挿入しておけば、頸管が徐々に拡張されるので裂傷の危険が少ない。

尚手術中、術後の出血を少なくし、穿孔を防ぐ目的で子宮収縮剤が使われる。この時期に行われる中絶の麻酔には、局所浸潤麻酔、迷朦麻酔、吸入麻酔などがあるが、現在もっとも多く行われているのは、バルビタール誘導体の静脈麻酔である。この時期の妊娠中絶の際に、注意を要する障害あるいは合併症としては、子宮損傷、内容遺残、感染、出血などである。

「手術に必要な器具薬品」

子宮消息子、腔鏡、ミユソー氏双鉤鉗子、胎盤鉗子、流産鉗子、金属製子宮頸管拡張器、キューレット鉗子、捲線ゾンデ、長ピンセット、綿球等。薬品：麻酔薬、子宮収縮剤（硫酸スバルテイン、麦角剤）、ヨードチンキ、強心剤、血圧上昇剤等。

B・妊娠中期の中絶法

この時期には胎児が大きくなるために、一時的に内容除去はできないので、陣痛を催起して胎児を娩出せしめる方法をとる。このためには、一方法だけで迅速確実な方法はなく各種の方法があり、また二つ以上の方法を併用する。即ち、メトロイリントール法、ブージー法、ネラトンカテーテルを卵膜と子宮壁の間に挿入し、そこからブドウ糖液またはリバノー

ル液二十〜三十ccを注入する方法陣痛催起剤塩酸キーニネ分服、脳下垂体後葉ホルモン分割注射、Pilocarpin点滴静注等）使用法などがある。しかし、これらの単独使用よりも併用使用のほうが効果がある。たとえば、ブージー法あるいはネラトンカテーテル法、メトロイリントール法と薬物法とを併用する。また薬物も塩酸キーニネ法と、脳下垂体後葉剤の分割注射あるいは点滴静注などとを併用する。これら妊娠中期の中絶法では、いずれにしても分娩まで、一〜三日間を要する。

その他手術法として、腔式帝王切開術がある。これは、所要時間は短い、欠点としては人手を要し、出血が多く、また次回妊娠、分娩に障害を起こすこともある。

「人工妊娠中絶の

方法の選択」

原則的には、妊娠初期には子宮内容除去術を行い、妊娠中期には、各種の方法を以て胎児を娩出させる方法をとる。ただ、この両方の境、すなわちどの時期ぐらいまで子宮内容除去術を行うかが問題である。

これを決定するには、手術が可能な時期と手術の障害率とから決定せねばならない。

すなわち、単に手術の可能性からのみみれば、妊娠第四ヶ月のみならず、強行すれば六ヶ月、七ヶ月でも可能である。しかし、従来的人工中絶による障害報告を見れば、後述のように、妊娠第四ヶ月において、障害率が最も高くなっている。

妊娠四ヶ月にもなれば、胎児は相当に大となるので、障害を少なくするためには、子宮内容除去術を避

くべき時期であるにも関わらず、これを敢行するために、子宮損傷などの障害率が高くなる。子宮の大きさは、妊娠月数だけでは決定できないが、普通妊娠四ヶ月の中ごろ以後、すなわち、子宮が小児頭大以上となったならば子宮内容除去術は避くべきである。

水子とは…

YBU英会話教室

心のともしび

マクドナルド神父

初めて水子という言葉を知ったのは、地下鉄に貼られていた広告を見た時でした。水子と言つのは、墮胎などによってこの世に生まれることの出来なかつた胎児のことで、その後、水子の墓地や、水子の供養寺があることを知りました。さっそく、私は友達で紹介で水子の供養式に出席することにしました。

京都にあるその寺は念仏寺といわれて、とても古い小さなお寺です。そこでは毎日三回、水子供養がおこなわれています。お寺の入口のすぐそばには、子供を抱いたマリア様のような像がありました。その像は、延暦寺を建てた最澄上人のお母さんとのことだ、

この寺で生まれた彼女は水子の守護の聖人のようです。

朝の十時少し前に着いた私達が本堂にはいると、五、六人の人々が待つており、申し込み書に自分の名と水子のなくなつた日を書いていたました。本堂の中の左の方の棚には、入口でみた像と同じ様な形の像で、金メッキされた十五センチ位の像が四千個位ずらつと並んでいます。それらは一人一人の水子を象徴したもので、ひとつを手に取り像の裏を見ると、母の名と墮胎された日付が記されていました。ふたつ目のを取ると三つの日付があり、「これは」と尋ねると二回墮胎したという意味とのことでした。九回も墮胎した人や、墮胎した回数を覚えていない人もあると聞かされ、私は驚きのあまり言葉も出ませんでした。

ちょうど十一時、和尚さ

んが本堂に入り、式が始まりました。その頃には十五人の人が集まり、ほとんどがお母さんたちでした。

皆の御焼香がすむと木魚を懸命にたたきながら経文を読み始めました。木魚をたたく度に犯した罪が取り除かれるとのこと、彼女たちは罪が取り除かれることを願いながら、水子の冥福を祈っていました。約一時間の式の後、本堂の隅のテーブルの上に祈念帳があるのに気付きました。その中に次のような手紙がありました。

「かわいい私の子。家庭の事情であなたを生むことが出来ませんでした。ごめんなさい。貴方が私のお腹の中にいた三ヶ月は私の生涯で最も幸せなときでした。どうか、あなたを生むことができなかつた弱いママを許してください。さよなら。永遠に。ママより」

お寺を出るとき、私の心

は重く、悲しみでいっぱいでした。貴重な生命が無視され、母の胎内で胎児が平気で殺されているからでした。私の故郷、アメリカでも胎児はたびたび人間ではないとみなされ墮胎が行われていますが、日本では水子の供養が行なわれ、胎児は人間だと認められています。けれど、墮胎すれば殺人だとわかっていながら、平気で、それを繰り返しているのです。墮胎は殺人だと肝に銘じ、墮胎を絶対にしないと決意すべきだと、お母さん方に、お父さん方に、そして全ての人に訴えたいと思います。



念仏寺の入口にあるマドンナのような御像
水子を抱いた最澄上人の母 妙徳夫人

住所

人間にとって、一番大事な言葉は本人の名前です。二番目は住所です。冬には住む所はあたたかいし、暗くなる夜の時は安全だし、お腹がすく時おいしい食事、毎日居る時間、出かける時間、と帰る時間はその住所の生きている環境、愛、理解と心などがいつもあります。人間のルーツあるいは人生の出発の所だと言われています。

私たちが人間は皆、初めは母体内の住所で育って十ヶ月後母体外の住所で大人にまですればらしい教育を受けました。もし三ヶ月で生まれた私たちが、生まれた後で命を取ったとしたら、その一人は殺人という罪で有罪判決を下されます。しかし、今日、三ヶ月の赤ちゃんは資格のあるお医者さんに中絶をされるのです。そのお医者さんにはたった一つの条件がある。その条件とは住所です。すなわち、お母さんのお腹の中に住んでいることです。もし胎児が中絶手術の行われる前日の夜に生まれてきたとしたら、その胎児の命は全力を尽くし、法の限りを尽くして守られるのです。最も安全な住まい子宮では、生命の誕生の際「どの様な奇跡が行われるのでしょうか。誰一人として知る者はありません。誕生によって、一人の住む環境が変わり、栄養や酸素の取り方、魅力のふりまき方が変わるので。

は、母体内で「育っている」そのような胎児を母体外で「育て続ける」ことに他ならないのです。一度「生」を受けた赤ちゃんを「育て続ける」のは親の義務であり、その義務は、赤ちゃんの育っている場所（母体内か母体外か）には関係ないはずで「
どうでしょうか。
日本プロ・ライフ・ムーブメント
（中絶に反対する運動）
代表者
ノボトニー・ジェリー
OMI



若い生命

11週から12週の胎児

心臓は鼓動している。

(18〜25日目より)

40日目には脳波の出ていることも認められる。

顔をしかめたり、呑みこむ動作をし、こぶしを作ることも出来る。

指紋も出来、足で蹴る動作も出来る。

熱、接触、光、音を感じ分ける。

親指をしゃぶる。

体の全機能が活動している。

体重は28g位、身長は6cmから8cm位。

大人の掌にはまる位の大きさ。



性における愛・・・定価¥500

著者・・・吉山登

発行所・・・中央出版社

真の人間解放に向けて、性を自由に生きるということは正しいことだと思います。

だが、今日の性の自由化は、反対に、人間を性的享樂の奴隷にしています。

そこで、性をほんとうに自由に生きたいと思うならば、性を人間的に生きる努力が大切です。そもそも、性は人間を動物化するのではなく、人間化、人格化するものなのです。そこに、性のモラルの根拠があります。

もう一度、人間の性の深い意味を見出したいものです。

― 著者 ―